

洋書輸入協会会報

VOL. 4

NO. 1

(通巻33号) 昭和45年1月

年頭の挨拶

嵯東光堂書店 石内茂吉

あけましておめでとうございます。

昨年ほど国内国外の情勢に変化の大きくあった年はありません。

ヴェトナム戦は依然として終らず、アポロの月着陸や国内での年末総選挙などはさておき、当協会に直接影響のあったものでも、フラン切下げ、マルク切上げ、学校紛争、British week、労使関係など数えあげることが出来ます。従って、当協会としても、かつてない活潑な活動をした年でした。また、才一回「国際書籍展視察団」の成功も特筆に価するものと云えるでしょう。

1970年は安保、万博の年とも云われ更に激動する時代と予期されています。貿易、資本の自由化による日本経済の国際化、海外資本の日本進出、円貨の切上げ、学校紛争の

再燃、物価と賃金の上昇、労働力の不足、労使関係、大企業の中小企業圧迫、業者間の競争の激化等々、問題は山積しています。

中小企業の圧倒的に多い当協会員として、これらの諸問題に対処するために、まずわれわれの当面している現状を的確に把握し、企業の合理化、体質改善、労働力の確保、定着等労務問題の研究などに緊急かつ適切な手を打たねばなりません。

昨年末開業した「洋書センター」は一つの試みとして注目されるべきでしょう。また Air Cargo, Computer の共同利用など、このきびしい情報化時代にふさわしいリーダーシップを「洋書輸入協会」がとれる実力を備えるよう全会員が協力し、事業の繁栄に邁進いたしましょう。

理事会報告

12月10日(水)

(一) 総務委員会報告。

- (1) 11月分収支報告。
- (2) 関西支部編共同外国雑誌目録の東京地区会員分立替払い支出の件。
- (3) 藍沢ビル管理人年末心付け支出の件。
- (4) ドイツ・マルク切上げに伴う諸問題報告。

(二) 通関委員会報告。

- (1) 通関協議会幹事会出席報告。ガリ版刷り月刊会報「東京外郵」創刊の件、及び洋書輸入協会会員用に65部申込みの件。
- (2) ACSインボイスの件。

(三) 文化厚生委員会報告。

- (1) フランクフルト書籍展見学旅行団募集に対する謝礼金処理の件。立替金差引の上、協会へ寄附せられる。
- (2) 囲碁同好会納会の補助の件、及び例会々場提供の日賃へ心ばかりの謝礼の件承認。

(四) 経営研究委員会報告

Agent List は目下進行中、今年度分は、インデックスをつけるよう準備中である。

(五) その他

元 Jolley & Brash の桑島氏が45年々初に Van Nostrand Reinhold Co. ABC の Representative となり、渡米される由。

東海懇談会だより

11月26日(水)

英国出版業訪日代表団、団長ティママンズ氏はか12名来名。

丸善名古屋支店、名古屋大学付属図書館、中京大学図書館、日本陶器などで懇談。

12月26日(金)

臨時総会開催。

海外書籍貿易商会一宮営業所より脱会の申し出あり。

地理的に遠距離にあり、業務的にも他の会員との接触うすきためとの理由。同会にてこれを承認。

新 年 懇 親 会

「十杯のお茶より一杯の酒」という言葉があるが、酒と酒席のもつ雰囲気は人と人の心を近づけるものがある。と言うわけで新年会には酒はつきものではあるが、協会の新年会は商売柄、宴会よりスマートにとカクテル・パーティにして今回で3回目である。会場は業界にぴったりの丸ノ内プレス・クラブはどうかの声もあり、幸い文化厚生委員長の洋販渡辺社長が同クラブのメンバーであるところからクラブでも心快く引受けてくれたのでそこに決めた。

1月6日（火）午後5時に開場。胸につける名札もスマートなものになった。クラブの人がおどろくほど出足は好調で40分をすぎる頃には大半の方々が参集して下さった。

会員38社72名、出版社代表15社22名と昨年を上回る盛大さである。正月松の内の文字どおりの新年会で出席者の和気あいあいの歓談でにぎわう。宴たけなわになった頃、洋販渡辺社長のユーモアあふれた司会により、理事長丸善司社長代理中田常務の激動の70年における協会の発展を希望するとの挨拶があり、出版社を代表して Feffer & Simons 社の Mr. Fillmore の日本語による挨拶があった。つづいて対抗意識をもやしてか、H.M. Snyder社の柴田氏の英語によるスピーチがあり喝さいを博した。そのあと7時まで幹事が心配になるほど、良く飲み、良く食べ、かつ歓談された結構な新年会であった。（文化厚生委員・洋販柴山記）



右上：中田理事長代理挨拶
右下と左：プレスクラブの落ち着いた雰囲気の中での新年会



チェコスロバキヤでは洋書を読む人が多いんですよと、「冗談を言っちゃ困りますよ、誰でも洋書を読んでいるじゃありませんか」と言う答がはね帰ってくるが、もうすこし丁寧に、日本人にとっての洋書ではなく、チェコ人にとっての外国書と言う意味だと説明仕直さなければならぬ。チェコはスイスと並んで外国語のよく通ずる国なので、当然のことながら外国の書籍・雑誌への欲求は強いものがある。

しかし、外国書籍の輸入は外貨と、思想上の問題があるので、何でも頼めば入手出来ると言うわけにはいかない。全般的にはしだいに制限がとれる方向にあったのが、ソビエトの介入後はどうなったか不明である。特に、英米、西独、フランスのものが関心の的で、その中でも、技術的なものに、主な重点がある。一般に図書館、研究所が完備しているので、個人ではあまり蔵書を持つことはないが、愛書家はどこにでもいるので、この人たちの欲しい本が西側にあるときは大変である。公式のルートで頼んで来るときはいいが、来ないときには何等かの方法でチェコの本との交換を考えたり、知人に頼むしか方法がない。正式に入手出来る場合でも、交換のレートは非常に高いので、西欧の本はチェコでは、とても高いものとなる。

そんなわけで、時おり開かれる即売展のような機会には人が集まり、また、こんな機会でもなければ、スウェーデンの本などみることは出来ない。このような展示会は相手の国の文化協会や、大使館が援助をしてかなり盛大である。

同じ外国書籍でも、社会主義諸国のものについては、全く事情が一変する。ルーマニア、中国、北朝鮮、アルバニア関係は需要が少ないので、また、ユーゴも恐らくそのためか売店がないが。その他の国については文化センターがあり、その国の文化をひろめる意味と、チェコにいるその国の人を目当てに本を売ると言う二重の目的をもっている。

これらの文化センターは優遇されていて、それぞれ目

きの通りであるが、日本で言えば銀座四丁目の角にあたる四つの隅の三つまでが本屋で、そのうちの二つが文化センターであると言えば想像がつくであろう。

この二つはソビエトとポーランドで、ハンガリーの文化センターも、プラハの中心の広場の一隅にある。日本と違って、これらの本屋さんはそれぞれの国の民芸品、レコード、新聞等を売っていて、ブルガリヤの文化センターは革製品、寄木細工までおいている。活潑な活動をしているのはソビエトとポーランドで、毎週、新刊書の展示会を行ない、その見本によって注文すると二週間後に本が入手出来るしかけになっている。この展示品以外の入手は同じ社会主義圏でもあまり順調には行かない。

東独の文化センターも人気を集めていて、ここは非常に大きな楽譜の部門があり、多量のレコードと共に客の注目の的となっている。

以上は国内からみた場合であるが、外国からみた場合には、御存知のように輸出入公団の「アルチャ」がいっさいをとりしまっている。この公団は一切の文化的な品目の輸出入を取扱い、したがって、書籍、民芸品、美術品をはじめ、レコード、印刷物等をレポートリーとして持っている。

その中の古本に関して一言すればドイツ語のもの、ヘブライ関係が中心であったが、近隣の国から来て丁寧に採りつくしたので掘出物は困難である。永い間禁書として倉庫にねむっていたヘブライ関係の本が出廻ったときには珍しいものもあったが、今ではもう珍しいものを見つけるのは困難であろう。本の事情も政治と結びついているこの国では情勢は刻々と変化していて、かつては「ソビエト図書」と大きな看板を出していた目抜き通りの店が、今では「海外図書」と看板をかえる程敏感で、このようなことは日本ではみられない、中部ヨーロッパ小国の変わり身の早さと言えよう。(東京教育大助教授・言語学)

会 員 紹 介

試 行 錯 誤 を 通 し て ——

白 鷗 洋 書 株 式 会 社

昭和38年10月創立され、昨年5月協会に加盟したばかりの新興会社である。数人の社員もみな若く、企業としての独自性も未だこれと言って特記すべきものはない。全ては今後に属すると言ってよい。

現在のところ、主要販売先はファッション、商業デザイン関係業界であり、輸入先はアメリカ・フランス・イタリア・ドイツを主とする。取扱品目は、書籍と業界雑誌・新聞等の定期刊行物とが相半ばしている。

昨年春、今後の営業方針を模索する意味合もあり、プロ・カメラマンをヨーロッパ各地に派遣して、風景・風俗写真の特撮した。

今後数年を経過して、企業体としての基盤を確保することが出来れば、写真版權取扱、及び出版などの分野にも手を展したい意向を有している。

将来の飛躍を期して、秘かに発条を矯めつつあるのが同社の現況である。

洋書こぼれ話

1940年前後のこと——(その2)

丸善 本の図書館長 八 木 佐 吉

洋書業界は1939(昭和14)年に入るといよいよ苦しい状態になった。いや、業界だけでなく日本中が息ぐるしくなってきたのである。たとえば1938年の5月ごろから文学書、美術・娯楽書の類はほとんど輸入されなくなり、8月ごろにはまったく発注できなくなっていたのであった。こんな有様のうちに、1939年7には「国民徴用令」が公布施行されて、一般国民が兵隊に呼び出されるのと同様に、軍需工場などに強制引き抜きされるようになってきた。いつなんどき、どんな工場なり、場所へ連れていかれるのか解らない、自分ではどうしようもないわけである。従って、われわれ従業員も経営者も身辺の不安定はつるばかりであった。“どうせ本も来ないし、座して不安がっていない”でと自ら転業して、時局産業に入っていった人々も多かったのである。1939年8月ごろからは、もろもろの統制はいよいよ強化されてきた。丸善のアナンスメントも在来32頁が16頁となり、洋書の少なくなったのを、和書の新刊で埋めるような状態となってしまった。この頃の本で *Sickle or Swastika*. By Cecil Chesterton (med. 8vo, 268頁、¥10.60) といったような時局物があつた。広告文に日く“ドイツの全体主義とソ連の集団主義、それは対蹠するとともに類同でもある。鎌と逆万字の渦に混迷した Austria の生活”とある。板ばさみの国の状態は今日と変わらないようだ。

この年9月からは毎月1日が“興亜奉行日”ということので以後毎月この日は“酒ナシ日”として淋しい日になった思ひ出もある。“とんとんとんからりと隣り組、格子をあければ顔なじみ、おしえられたり、おしえたり”の歌とともに隣組回覧板が廻って来たり、集会があつたりした。旧幕時代の五人組のようないやな面もあつたが、向う三軒両どなりが仲好しになろうというのであるから、これは、この時代としてはやや楽しい思ひ出である。1939年9月1日は興亜奉行日のオ一日だけではない、ドイツがポーランドに切り込みをかけて開戦した日でもある。つづいて3日には、イギリス・フランスがドイツと戦争状態に入って、ヨーロッパ全体の混乱となり、東亜の情勢と併せて、事実上オ二次世界大戦に入ったのである。

“こぼれ話”の責任からも、洋書のタイトルを若干かかげ

ておかなければなるまい。このころの時局が反映されている書物数点をひろいあげよう。

Deutschlands Kampf um seine Rohstoffe.

Von Dr. M. Hessenland. 3. Aufl. 1939. München (Lehmann). 198 SS. ¥5.45 (DM 4.20)

Inside Red China; the Dramatic, First-Hand Story of the Chinese Soviet Republic. By N. Wales. 1939. New York (Doubleday). xxiv, 356 pp. ¥13.50 (\$3.00)

Food Control; its Public-Health Aspects. By J. H. Shrader. 1939, New York (Wiley). x, 513 pp. ¥18.00 (\$4.00)

American Far-Eastern Policy and the Sino-Japanese War. American Council, Institute of Pacific Relations. 1938, New York. viii, 68 pp. ¥2.35 (50 cents)

Die Wehrwirtschaft des totalen Krieges. Von S. Th. Possony. 1938, Wien. 155 SS. ¥8.70 (?)

Nazi Germany Can't Win; An Exposure of Germany's Strategic Aims and Weaknesses. By Dr. W. Necker. 1939, London (Drummond). xii, 364 pp. ¥10.00 (10s. 6d)

さて、1939年は暮れて、1940年昭和15年はわが国では待ちに待ち、準備に準備を重ねてきた“神武紀元二千六百年”の記念すべき年。しかし、謳歌することは僅かであった。内外の時局はいよいよ厳しく、国内の統制はいよいよ強化されていく。本屋の商売はますます窮屈となって来た。和書の出版も用紙が配給制度となる。従って、邦文書籍も時局向きの本だけとなりつゝあつた。下手な説明よりご理解がはやいと思うので *Maruzen Announcement* の1940年1月10日号の公告文巻頭言を読んでいただくこととする。“当誌は世界出版界の趨勢を逸早く御紹介致したく、海外発行の主要新刊書を在庫の有無に拘らず撰蒐掲載致します。但し、時局のため入手困難のものは除外致します。尚在庫品及内地発行の新刊書も併せて掲載致します。また、stock reportとして“時局下輸入困難の文芸書を始め各部門の洋書中、従来からの在庫品中から撰採……”とある欄も設けられ売り喰ひ時代に入った感がある。

この頃、山本直文先生(学習院教授・模範仏和辞典編者)の書かれた文章で時局を語る適切ながあるので摘録させていただきます。"フランス文の料理書の蒐集は必要程度には大体出来ているが、英文でのしっかりしたものがなかったから、昨年春(1939年)慌てて丸善を漁らうとしたがもう遅かった。丸善と雖ども最早本はない。非常に乏しくなり、ストックは売れ残りである。古本屋の店と何等変りはなく、五十歩百歩である。唯一の違いは、丸善の本は所謂セコハンでないことである。歯の抜けたライブラリーであることには変りはない。(学灯1940年4月号)

この年9月には日独伊三国同盟が調印されて、世界は大きく二分された。10月には「大政翼賛会」というのが発会式をあげて軍部独裁政治はいよいよはっきりしてきた。11月10日からの紀元二千六百年記念行事が多彩にくりひろげられた。しかし、すべてを日本式にという政府の指示から、タバコの Cherry は桜となり、Golden Bat は金鷄となり、歌手 Dick ミネ は改名を迫られた。洋書もいよいよ影がうすくなった。当時の洋書店の有様がハウフツするので、わずらわしいがもう一文章を転載させていただく。

"一、二年前からの現象についての愚見を二ツ三ツ述べてみよう(中略)この頃洋書を注文してもなかなか本屋から送って来ず、洋書屋の新着書目録も頗る寥々たるもの。店頭には大抵同じようなもの、表紙の変色したものがならんでいる。"当時の東京商科大学教授吹田順助博士の"洋書飢饉対策"という評論の一節である。

1940年もなかばをすぎるところとなると広域経済 Gross-raumwirtschaft、とか自給自足経済 Autarky, Selbstversorgung などといった、まことに当時のドイツなどい

も出てくるし、また本も出てくる。"友邦理解のための新資料"というような見出し語のもとに

Hitler. - Mein Kampf. Volksausgabe. 2 Bde.

Santoro, C. - Hitler-Deutschland von einem Ausländer gesehen.

Mussolini, B. - My Autobiography.

などの広告も目立っていた。一方時局向け実用書としてテレビジョンの洋書も入っているの、そのタイトルをあげておく。

Television Broadcasting Production, Economics, Technique. By Lenox R. Lohr. 1940, New York.

xiv, 274 pp., 88 illus. ¥13.50

Principles of Television Engineering. By D. G. Fink.

1940, New York. xii. 541 pp., 31 illus. ¥22.50

今日からみると真におかしな本もある。例をあげれば

The Imperial Soviet. By H. C. Wolfe. 1940, New York (Doubleday, Doran). xvi. 294 pp. ¥11.25

(\$2.50)

この本は"ドイツ・ソビエト・日本の三国提携が成立すれば、ヨーロッパ・アメリカの民主主義的世界の秩序は破られる"ことを予想しそれにまつわる諸々の予見を下したものとこと。この本の通りに世界が進んでいたのであった場合、今ごろは果して繁栄の日本であったか、または軍人の世の中であったかは誰にも判定のつき兼ねることである。まことに人間の世は、"人間万事塞翁が馬"で禍ひと幸福が転々として到来し、人生のこと、世界のこと、吉凶禍福はあざなえる縄の如くで転々として予測できないものなのであろうか。こんな様子で1940—紀元二千六百年—昭和15年も年末を迎え、いよいよ1941年大東亜戦争の勃発した運命の年に入る。

会 員 紹 介

繊維業界へ貢献を念願

広く世界各国から繊維 意匠に関する資料を輸入して吾国繊維業界に多少なりとも貢献出来得ることを念願として発足。

パターンブック(生地見本帳)、スケッチ(染織用図案)、カラーカード、書籍(主として古書)、雑誌等を主に輸入。其後情報産業化の発展にともない、いち早く駐在員をバリ、ミラノにそれぞれ派遣してよりスピーディにファッションの動向や繊維業界の情報を導入する事により販路の拡大を計画。

最近「ファッション産業」と云う言葉が紙上等で使われる様になっていますが「ファッション」は上流社会のものではなく益々大衆化してヤングパワーのものに移行しています。米国の消費支出でもファッション商品が他の産業をしのぎ第一位に進出した昨今、今後益々繊維業界に対する吾々の使命を自覚し吾社名の如く常により新しいものを見出し業界により貢献し得る事を念願としております。

ノベルティブックサービス株式会社

西ドイツからのシベリヤ経由輸送について

西欧諸国からの輸入期間を短縮するため、シベリヤ経由送品の希望が高まっており、先月の会報でも英国出版業代表团と当協会理事との間に此の問題がとりあげられております。すでにスイスに於ては1968年1月からこの方法が採用され、従来50～60日を要した輸送期間が約30日に短縮されたことは大方の御承知の通りです。西ドイツからの送品にもこの経由がとれないものかと思い照会しましたところ、西ドイツ郵政省 (Der Bundesminister für das Post- und Fernmeldewesen) から次のような回答を得ましたので御紹介します。

「日本向郵便に関する1969年11月28日付西ドイツ郵政省の回答)

前略、1968年12月に告知しました通り、西ドイツ郵便局では1969年1月1日より日本向郵便のうち小包郵便物に限り、従来ルートの他にシベリヤ経由をとり入れることゝしました。これにより、発送人は輸送期間と料金を考慮した上で、両者のいずれかを選択出来るようになりました。しかしながら、このシベリヤ経由による新ルートは普通郵便物には適用されません。その理由は新ルート開設以来の利用実績と、本年5月よりパナマ経由の快速船が日本向郵便に使用され、郵送期間が著しく短縮されるようになったという事実に基くものです。

シベリヤ経由による小包郵便の郵送期間が、従来ルートによるものよりも短いということは今夏の例の通りですが、従来ルートによる普通郵便はパナマ経由急行便の数を増加することにより引続き改善がなされており、又冬期はシベリヤ経由の郵送期間が長引きがちであることから、普通郵便に新ルートを適用することは見合せています。

今後も郵送期間の改善のため二つのルートに関する調査検討をつづけます。そしてシベリヤ経由があらゆる面で利点があるということになりました時は、このルートを普通郵便に適用することにやぶさかではありません。敬具」

註(1) 文中の「普通郵便」というのは印刷物を含む一般郵便物で、Bulk Post もこれに相当します。

(2) 「小包郵便」というのは制限重量10kgのもので、日本では連合小包と呼ばれるものに相当します。

(3) 西ドイツからこのシベリヤ経由小包郵便を利用した場合の送料は10kgでDM 24.20を要します。従来ルートによる普通郵便は、書籍については割引料金が適用されるので10kgあたり約DM 10.00です。

(4) 日本からのヨーロッパ宛連合小包にも、シベリヤ経由・スエズ経由の二路があり、発送人が指定出来ます。西ドイツ宛の送料は前者が10kg 2,210円、後者が1,630円です。(メクレンブルグ商会)

海外 ニュース

「ハーコート社がアーコ社を買収」

Harcourt, Brace & World 社の社長 William

Jovanovich 氏と Arco Publishing Company の社長 Milton Gladstone 氏は、ハーコート社が同社の普通株 156,000 株と引換えにアーコ社を完全に所有して子会社と

することに、原則的に同意した。この協定は両社の取締役会の承認を得て正式に発効する。

アーコ社は、1937年創立で、公務員その他の資格試験、大学・高校の入学試験の受験準備の参考書の出版で知られ、美術・料理・経営その他ノンフィクションの分野の出版も行ってきた。

両社の共同声明によれば、アーコ社は現社長のもとで現在のスタッフのまま事業を継続する。

(Publishers' Weekly, 1969年12月29日号より)

「アンドレ・ドイッチとタイム社」

英国の Andre' Deutsch Ltd. は Time Inc. に持株の40%を売渡した。社主のアンドレ・ドイッチ氏は、1952年会社創立以来同社を支配してきたが、今後とも経営権は確保する模様である。

タイム社は、すでに、西独ハンプルクの Rowohlt 社、パリの Robert Laffont 社の株を所有して出版の提携を行っており、同様の関係を英国においても結ぶべく、1967年からアンドレ・ドイッチ社に接近していたとのことである。

なお、これまでの交渉に当たってきたタイム社の Raimund von Hofmannsthal 氏が、新たにドイッチ社の経営陣に加わるようになった。同氏は、著名なオーストリアの詩人、Hugo von Hofmannsthal の子息である。

(The Bookseller, 1969年12月20日号より)

「西ドイツの書籍輸出入と日本」

西ベルリンを含む西ドイツの書籍の輸出入の統計が

Börsenblatt誌、101号(1969年12月19日)に詳細に報じられている。

1968年の書籍・雑誌・絵本・楽譜・地図を含む出版物の輸入は、総額 153,813,000 マルクに達し、前年より7.2%増となった。同じく輸出は総額 490,523,000 マルクで、前年より12.9%増であった。

国別に輸出入合計額を見れば、日本は、スイス・オーストリア・アメリカ・オランダ・イタリア・フランス・イギリス・ベルギー／ルクセンブルクに次いで9位で、約1,270万マルクとなっている。この数字は前年(1967年)に対し5.8%の増加である。このうち対日輸出額は約95%の12,002,000マルク、輸入額は687,000 マルクであり、依然として圧倒的な出超を誇っている。

対日本輸出入額の明細は次表の通りである。

1968年の対日本輸出入額と輸出入総額に占める比率

(単位 1,000 マルク)

	輸 入	輸 出
書 籍……………	449=0.4%	8,060=2.9%
雑 誌……………	26=0.1%	3,636=1.9%
絵 本……………	165=7.8%	2=0.1%
楽 譜……………	1=0.1%	226=3.5%
地 図 類……………	46=1.1%	78=0.9%
計 ……………	687=1.1%	12,002=2.5%

— 紀伊国屋書店提供 —

お知らせ

12月23日（火）業界に新しい会が発足しました。早稲田出身者による“洋書稲門会”です。当日は初めて Books for Asia の田所氏（病気のため欠席）及び、オリオン図書の小川氏の努力により13名という多数が出席し、東京芝の機械振興会館（パークヒルレストラン）に特別席をもうけて盛大かつなごやかに行なわれました。各社早大出身社の参加をまっております。

尚、事務局は千代田区神田神保町2の2

洋書センター内 教文館渡辺幸典方 洋書稲門会

名誉顧問 宮島家太郎（三省堂）

会長 小川浩二（オリオン）

12月20日神保町の交差点に日本洋書センターが開店営業を開始した。約50坪の店には教文館、ゲーテ書房、東光堂、アカデミア・ミュージック、極東書店、国際書房が出品している。代表取締役会長に波多野勤子氏、代表取締役社長に渡辺正広氏、専務取締役松井晴嗣氏が就任した。

同センタービル2階には Books for Asia および British Books の両社がオフィスと展示室を設けている。

新入会員及び住所変更がございましたのでお手許の会員名簿の訂正かた願います。

◎新入会員 ノペルティ・ブック・サービス株式会社 代表者 山川雅憲氏

大阪市東区備後町4～12 備後町ビル ☎06-231-4331

東京支店 中央区日本橋堀留町2～2 大和銀行ビル ☎03-661-2032
2068

◎住所変更 伸興通商株式会社

新住所 新宿区若葉町1～7～1 ☎353-1751～3

旧 港区南青山4～9～6

株式会社オリオン 洋書輸入販売部（オリオン図書）

港区赤坂2～13～19 五城ビル ☎582-8571

1月19日より洋書部門のみ移転業務開始す

（本社は従来通り神田に於て業務致して居ります）

訃報

福岡益雄氏 株式会社金星堂取締役社長

予て病氣療養中の如く12月24日永眠されましたので茲に謹んで哀悼の意を表します。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店のご案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

株式会社伊国屋書店 ☎ 354-0131

Int'l. Elec. Inf. Serv.

- The Laser Handbook. ¥ 68,000

Science Associates/International Inc.

- Commodity Coding. 3,000
- Computer Application Packages in Local Government. 2,000
- Computer Application Packages. 2,000
- Computer Courses 68/69. 2,000
- Computers in Distribution. 2,000
- Computer File Creation for Manufacturing Control. 2,000
- Computers in Textiles. 2,000
- Computers Aided Production Control. 2,000
- Systems Analysis/Design Working Party Report. 2,000
- NCC NEWSLETTER (11 issues/year) 6,750
- C/I/L PATENT ABSTRACTS (Bi-Monthly) 15,750
- SCIENTIFIC INFORMATION NOTES (Bi-Monthly) 5,760

Europa Pub.

- The International Directory of Computer and Information System Services - 1969. 4,860

Slatkine Rep.

- Bayle, P. - Dictionnaire historique et critique. Nouv. éd., augmentée. Réimp. de
l'éd. de Paris, 1820-1824. 16 vols. 9,546 p. until 30. 7. '70 162,000
thereafter 180,000
- Condillac, E. B. de - Oeuvres Complètes. publiées par A. F. Théry. Réimp. de
l'éd. de Paris, 1821-1822. 16 vols. 8,532 p. until 30. 7. '70 135,000
thereafter 150,000
- Saussure, F. de - Recueil des publications scientifiques Réimp. de l'éd. de
Genève, 1922 644 p. until 30. 7. '70 10,350
thereafter 11,500

丸善株式会社 ☎ 272-7211

Lodder, J. and N. J. W. Dreger-Van Rig (eds.). -

The Yeasts: An taxanomic study. 2nd Ed. in 2 Vols.

Ready in May '70 (North-Holland)

set ca ¥ 24,000

All Publications of ARS POLONA, Warsszaw, Poland

このたび弊社はAPI及びTRC (Texas A & M University) の日本総代理店になりました。

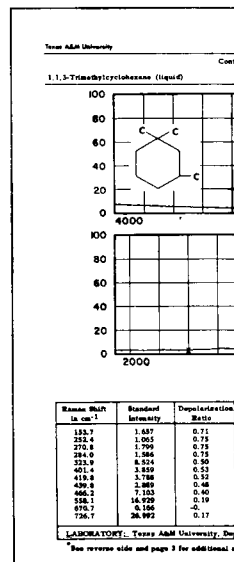
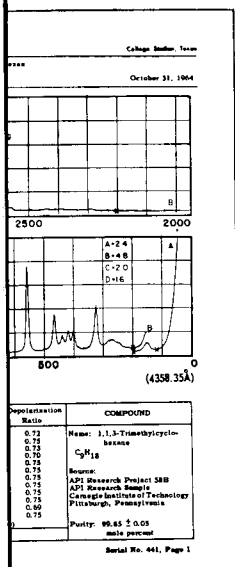
API (American Petroleum Institute) Research Project 44

炭化水素及びその化合物について、現在までに、10,000以上のデータを、集めています。世界中から集められた最も信頼度の高いデータです。それぞれのデータはルーズリーフ式のバインダーに収められており、年2回新しいデータの追補が出版されています。カテゴリーは次の通りです。(A) Physical and Thermodynamic Properties (B) Infrared Spectral Data (C) Ultraviolet Spectral Data (D) Raman Spectral Data (E) Mass Spectral Data (F) Nuclear Magnetic Resonance Spectral Data

TRC (Thermodynamics Research Center) Data Project

化学工業に於ける重要な有機・無機化合物についてのデータです。そのデータは2700に及び、API Research Project 44と同じく、ルーズリーフ式のバインダーに収められ、年2回新しいデータの追補が予定されています。カテゴリーも、熱物理的性質、赤外、紫外、ラーマン、質量、核磁気共鳴の6種です。

なお、このAPIとTRCの両方を含めたIndexが出版されています。(Comprehensive Index of API 44-TRC Selected Data on Thermodynamics and Spectroscopy) このIndexはAlphabetical Compound Name IndexとFormula Indexに分れており、各6分野に於けるデータとスペクトルの所在が明示されています。



日本総代理店



三洋出版貿易株式会社

本社 東京都中央区宝町2-8 TEL (535) 3391(代)
大阪(94)2058 京都(23)4620 新居浜(2)2530 町田(95)2098

昭和45年1月 通巻第33号 洋書輸入協会

編集者 寺久保一重

☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋1-15-5 藍沢ビル302号室

☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル

☎ 371-5329